

教科	家庭	単元名	朝食から健康な1日の生活を
----	----	-----	---------------

本時のねらい

「炒める」の意味を知り、野菜を炒めることよい点を考え、表現することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・タブレットPCに事前に授業資料を配付することで、授業時間の有効活用につながる。
- ・ふりかえりを毎回データで提出することで、児童の思考の変容などを読み取りやすい。
- ・考え等を共有する場面では、画面を見せながら効果的に説明ができる（表現が苦手な児童も取り組みやすい）。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレットPC
- ・SKYMENU Class「発表ノート」
- ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習内容を確認する。 ○「炒める」について具体的にイメージする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の流れを大型モニターに投影して毎時間確認することで、見直しをもって本時の学習内容をより深く理解させる。
めあて「野菜を炒めることよさを考えよう」		
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○『生野菜』と『炒めた野菜』（人参、玉ねぎ、ピーマン、ほうれん草）を比較して、その特徴を発表ノートにまとめる。 ・「かたさ」「香り」「色」「かさ」の4項目について、両者を比較し、発表ノートに各自が入力する。 (班に1皿ずつそれぞれの野菜を用意する) ○班ごとに自分でまとめた考えを交流する。【写真1】 ○全体で児童の考えを交流する。【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備として、発表ノートのワークシートを各自のタブレットPCに配付しておく。 ・ワークシートは、野菜ごとに写真を掲載してあり、比較しながら入力しやすいような表形式にしておく。 ・児童どうしの交流の際には、ワークシートの画面を見せながらわかりやすく説明するように促す。 ・児童の発表ノートを大型モニターに投影し、交流に活かす。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○班や全体交流の内容をふまえて、「炒める」ことよさをあらためて発表ノートにまとめる。 ○ふりかえりを行う。 ・わかったこと、がんばったこと、友だちの意見で思ったこと、もったがんだりしたいことについてふりかえりを行う。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型モニターも活用し、「かさの減少」「色の変化」「油の使用による香りの変化」「かたさの変化」の意味や良さを理解させる。 ・ふりかえりの発表ノートをデータで提出させ、次の時間に大型モニターに提示し、全体で共有し既習事項の確認を行う。

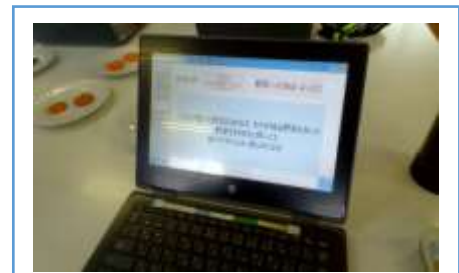
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 班ごとに自分でまとめた考えを交流している場面



【写真2】 数名の児童の発表ノートを大型モニターに投影し、全体で交流している場面



【写真3】 全体交流をふまえてそれぞれの児童がふりかえりしている場面

児童生徒の反応や変容

学習のふりかえりでは、【写真2】の全体交流をしたことで、「5年生の時にした茹でる料理よりは、時間がかからないと思う。調理実習で時間を測ってみたい」という既習内容と繋げて考えた意見や、「油の香りを意識したことがなかった。家には『こめ油』以外の油があるので、料理の手伝いで使ってみようと思う。」という自分の生活に生かそうとする意見など、友達の意見を受けて自分の考えを深めていく姿がみられた。コロナ禍の影響でみんなの前で意見を発表することが苦手な児童が増えている中、ICTを使った共有・表現方法は有効であると感じた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ ICTを取り入れることで、自分の考えを表現する、他の児童の意見を共有する、考えを深めて広げる、といった活動が簡単になった。
- ・ 人前で発表することが苦手な児童の意見についても、授業中に取り入れやすくなり、より多様な交流とすることができた。